

武漢事務所便り週間新聞記事報告 2010.04.24 - 2010.04.30

2010年4月28日付け「大楚ネット」

第7回都市森林フォーラム 武漢「国家森林都市」授与

昨日開幕した第7回中国都市森林フォーラムにおいて、武漢市は正式に「国家森林都市」という称号を授与された。

4月28日付 武漢新聞夕刊6年間にわたり、市の緑化に取り組んだ結果、武漢市は「国家森林都市」という名誉を授与された。同フォーラムにおいて、全国緑化委員会、国家林業局は正式に武漢市など8つの都市に「国家森林都市」という称号を授与した。

これは国が都市の生態保護計画に与える最高の評価であり、この都市は森林に囲まれていることを意味している。データによると、1999年武漢市の緑地面積は市の16.12%にすぎなかったが、現在では26.48%になっている。水域面積を除くと、この数字は35.56%となる。武漢市面積は非常に広大で、緑地面積を1%増やすためには、12.5万ムー（約83km²）の土地に木を植えなければならない。最も暑い都市と言われた武漢市がその汚名を返上できたのもこの植林のおかげだと言える。

昨日、張学忙副市長は武漢市を代表し、「国家森林都市」の額を受け取り、2004年からの国家森林都市建設計画を成功裡に収めた。

全国政治協商、国家林業局、省市などの幹部、国内76都市の市長、林業専門家など450人以上が同フォーラムの開幕式に参加し、また「国家森林都市」授与の立会人となった。その後、漢口バンドにて記念植樹が行われた。

「1998年の洪水の際、この辺りはすべて浸水したが、今は一面の森林地帯となった」。昨日、漢口バンドにおいて、中国都市森林フォーラムの参加者はこのような紹介を聞き、一様に驚きの表情を見せ、「この漢口バンドの森林は本当に素晴らしい」と賞賛した。

九峰都市森林保護区、東湖磨山、解放公園……昨日午後、参加者たちは車に

乗って、数十キロメートルにわたる武漢市の様々な森林を見て回った。中国林業科学院専門家は東湖と西湖を比較し、「西湖には人工の美しさ、東湖には自然の美しさがある」と二つの美を語った。



張学忙副市長が「国家森林都市」の額を受け取った

2010年4月30日付け「大楚ネット」

漢口解放大道は三環線まで延び、歩道橋8本新規建設

都市建設部門によると、世界銀行の資金支援を受けて、解放大道の延長建設が近いうちに始まる予定である。竣工後、武漢市北部と東北部の住民は中心部へのアクセスがより便利になる。

解放大道の下延長線は黄浦大通りから三環線南湖村陸橋まで、長さは9.4キロにおよぶ。

解放大道の下延長線の両側には多くの住宅団地があるため、その沿線で8つの歩道橋を建設する予定である。

歩道橋建設予定地は二七病院付近、二七小学校角、二七北路付近、百歩亭花園角、二航局水工工程支店、佳園団地入口、並びに美聯公園販売部門のそれぞれ2本。その他に幸福大道モノレール近くにも大型円形歩道橋を建設予定。